

令和7年度「NWE Cグローバルセミナー」開催要項

1. 趣 旨

テクノロジーの急速な発展は、私たちの生活をより豊かで便利なものにする一方で、サイバー空間での性暴力や性搾取といった新たな課題も生み出しています。特に、女性や子どもに対する被害は国内外を問わず増加し、その手口は日々巧妙化・深刻化しています。本セミナーでは、この課題に焦点を当て、専門家から日本国内の実情を解説いただきます。さらに、海外の先進的な事例から、被害の予防策、被害者支援、法整備の現状と課題について学びを深めます。これらを踏まえ、日本国内から性被害をなくすためにどのような対策が必要なのか、パネルディスカッションを通じて具体的な議論を深めていきます。

2. テー マ

テクノロジーを悪用したジェンダーに基づく暴力（TFGBV）への対応
～見えない危害を根絶するためのアプローチ～

Addressing Technology-Facilitated Gender-Based Violence (TFGBV)
～Approaches to Eradicate the Invisible Harm～

3. 実施方法 オンライン（オンデマンド／パネルディスカッションはオンラインライブ）

4. 配信期間

①第1部：専門家による基礎講座・海外事例報告（オンデマンド配信）

令和7年12月12日（金）～令和8年2月27日（金）

②第2部：パネルディスカッション（ライブ配信）

令和8年1月22日（木）13：30～15：30（120分間）

③見逃しダイジェスト（基礎講座・海外報告・パネルディスカッション全ての
オンデマンド配信）

令和8年2月3日（火）10：00～2月27日（金）17：00

	12月12日		1月22日		2月3日		2月27日
①基礎講座・海外事例報告	オンデマンド → 配信終了						
②パネルディスカッション			ライブ配信				
③見逃しダイジェスト					オンデマンド → 配信終了		

5. 使用言語 英語／日本語（字幕または通訳）

6. 対象及び参加人数

男女共同参画センター職員、自治体職員、女性団体職員、教員、研究者、学生など
300名

7. プログラム

第1部：専門家による基礎講座（日本）/海外事例報告（米国・韓国）

第2部：パネルディスカッション

【第1部】

<講師と演題>

○専門家による基礎講座

「誰もが被害者になりうるサイバー性被害の基礎知識
～SNSによって巧妙化する性的グルーミング～」

Title: "Foundational Knowledge of Cyber Sexual Violence, Where Anyone Can Be a Victim: The Sophistication of Sexual Grooming through Social Media"

櫻井 鼓 追手門学院大学心理学部教授

Speaker: SAKURAI Tsutsumi, Professor, Faculty of Psychology, Otemon Gakuin University

○海外事例報告1

「先駆者としての闘い：米国のサイバー空間における非合意ポルノ（NCP）」

Title: "Leading the Charge: Pioneering the Fight Against Nonconsensual Pornography (NCP) in U.S. Cyberspace"

カルメン・ロサリオ サイバー公民権イニシアチブ（米国）
サービスディレクター

Speaker: Carmen Rosario, Direct Services Director, Cyber Civil Rights Initiative (CCRI), U.S.

○海外事例報告2

「ジェンダーに配慮したデジタル性暴力予防の教育コンテンツ開発
-韓国の児童・青少年向けプラットフォーム『Dicle』の事例-」

Title: "Developing Educational Content for Preventing Digital Sexual Violence against Children and Adolescents in Korea - The Case of 'Dicle' (Digital Clean) Platform"

ミソン・ノ 韓国両性平等教育振興院（韓国）ジェンダー能力開発部部長

Speaker: Miseon Roh, Director of the Department of Gender Competence Development, Korean Institute for Gender Equality Promotion and Education (KIGEPE), Korea

【第2部】

○パネルディスカッション

テーマ：デジタル性暴力の根絶へ：被害者支援と加害防止のための多角的アプローチ

"Tips for Eliminating Cyber Sexual Violence: Perspectives for Victims and Prevention of Offending"

【パネリスト・演題】

・上谷さくら 桜みらい法律事務所弁護士

「デジタル空間の性暴力の深刻さ—法的視点と被害者支援の具体的な道筋—」

- ・ 武田勝彦 特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン事務局長
「海外事例から学ぶ子どもへの性搾取をなくすための方策」

- ・ 梁^{ヤンスヒ}瑞希 高崎経済大学経済学部国際学科講師

「ディープフェイクポルノを始めとした最新のデジタル性被害とその対策
～韓国の最新事例から～」

8. 参加費 無料（通信料は参加者負担）

9. その他

- （１）セミナー終了後、オンラインページ上のアンケートに回答をお願いします。
- （２）主催者がセミナーを安全かつ円滑に開催することが困難と判断した場合には、
やむを得ずプログラム内容の変更または開催を中止する場合があります。
最新情報はNWECウェブサイトでお知らせします。

10. 問合せ先

国立女性教育会館 研究国際室

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6437（平日9：00～16：00）

メール rese3@ml.nwec.go.jp

以上